

# 防犯及び安全対策の手引き

在イラン日本国大使館

平成21年9月

作成:警備班/領事班

はじめに

イランの治安状況は、イラクやアフガニスタン、パキスタンとの国境付近及び南東部州を除き、首都テヘランを含むその他の地域では概ね平穏ですが、当国滞在にあたっては、以下の大前提を踏まえた上で行動して下さい。

○ 現地の人でさえ立ち寄らないような地域や場所には近づかない

上記の国境付近や南東部州をはじめ、テヘラン市内であっても現地の人々が危なくて立ち寄らないような場所があります。このような場所には近づかないよう心がけて下さい。

また、普段は平穏な場所でも、政治集会やデモ、過激な国民行事が行われている場合には注意が必要です。

○ 日本とは全く異なる環境であるということを認識する

当国は「厳格なイスラムの戒律に基づく政治・社会体制下にある国」であり、生活環境が日本とは全く異なるということを認識する必要があります。日本では当然のことであっても、当国では時として法に触れる行為とみなされ拘束されるなどの事態に発展する場合がありますのでご注意ください。

## 目次

1. 治安概況	4
2. 防犯の基本的な心構え	4
3. 最近の犯罪発生状況	5
4. 防犯のための具体的注意事項	5
5. 交通事情	6
6. 爆弾テロ・誘拐対策	7
7. 安全情報の提供	8
8. 在留届	8
9. 緊急連絡先等	8
10. 終わりに	9

## 1. 治安概況

当国では、犯罪発生率・検挙率等に関する統計資料は公表されていないため、具体的な犯罪の発生傾向を基にした判断はできませんが、日常の報道に照らしてみると一般犯罪はかなり多く発生しているものと思われます。

特に、平成21年に入ってから強盗事件、窃盗事件(特にスリ、ひったくり、自動車盗、オートバイ盗)が昨年と比べて増加しているとの報道が多数みられ、決して「安全」とは言えない状態にあります。

邦人を被害者とする最近の事件としては、

- オートバイに乗った犯人によって鞆などの所持品をひったくられる
- 道を聞かふりをして近づいてきた犯人に、いきなり刃物を突きつけられて金品を要求される
- 言葉巧みに近いてきた犯人に、睡眠薬入りの菓子等を食べさせられて昏睡状態となり、所持品を奪われる

等が挙げられます。

また、犯人は刃物を所持している場合もあり、抵抗すると躊躇なく斬りつけられる可能性もありますので注意が必要です。

その他、路上で車から警察官を装って旅行者等に近づき、麻薬検査と称して所持品及び財布の中を見せるよう求め、ドル紙幣等外国通貨を数えるふりをして巧みに高額紙幣のみを抜き取る偽警察官事件も報告されています。

さらに、警察の発表では当国には約120万人の麻薬常習者が存在するとされており、若者が麻薬購入資金を稼ぐために強盗や窃盗等の犯罪を起こすケースも多いと言われています。

また、いわゆる「白タク」の運転手が強盗や強姦を働くケースも多数報告されています。深夜にタクシーを利用する場合はテレフォンタクシーや正規タクシーを利用し、決して一人で白タクや知らない人の車には乗らないようにしてください。

## 2. 防犯の基本的な心構え

- (1) 犯罪被害に遭わないためには、常に「気を抜かない」、「周囲を警戒する」ことが重要です。当国では、日本人は金持ちと思われがちであり、日常生活を通じ、常に「狙われている」といった意識を持つことが大切です。
- (2) 当国はイスラム体制国家です。イスラムを冒涇したと取られるおそれのある言動は厳に慎むとともに、特に女性は、イスラム教徒でない場合でも身体の線を隠すべくスカーフ、ロングコートの着用が義務付けられています。また夏季の素足にも注意が必要です。当国の法律ではこれら義務違反者は10日から2ヶ月の禁固刑が規定されているので、服装等については十分注意し、思いがけないトラブルに巻き込まれないよう心がけることが大切です。
- (3) 当国人は、強く自己主張をする傾向があります。一般的に当国人は非常に親切であり、自己主張と言っても決して悪気のあるものではありませんが、邦人がイラン人と接触する場合はイラン人の行動様式を十分認識した上で対応する必要がある

ります。イラン人に限りませんが、外国人の間では「自分の要求すべきことは相手にはっきり伝達する」という姿勢が顕著なので、日本人としては戸惑うことがありますが、相手方からの要求については「イエス、ノー」の意思表示を明確に伝えることが大切です。

- (4) 当国内の深刻な麻薬汚染を背景に、当局は麻薬関連犯罪を厳しく取り締まっており、これら犯罪に対しては極刑をもって対処しています。従って決して麻薬に手を出すことのないよう、またこれら犯罪に巻き込まれることのないよう注意して下さい。仮に当国の治安当局に何らかの嫌疑で身柄を拘束されても、イラン側から当大使館に連絡が入るといった保証は全くありません。違反行為はもちろん、嫌疑をかけられるようなことがないよう細心の注意が必要です。
- (5) また、当国では政府関連施設及び公共機関施設等に対する写真撮影及びビデオ撮影が禁じられており、当局も厳しい取締りを実施しています。過去には公共施設において写真撮影をしていた邦人が当局にカメラを没収される事案も発生しています。撮影箇所によっては身柄を拘束される可能性もありますので、写真撮影等に関しては観光名所に限定する等十分に注意してください。

### 3. 最近の犯罪発生状況

#### (1) 概況

邦人が被害者となる犯罪としては、平成19年10月にケルマン州(イラン南東部)バム市を観光中の邦人旅行者が麻薬密輸武装組織に誘拐されるという事件が発生しています(平成20年6月無事解放)。また、テヘラン市内でも邦人が被害者となる強盗、窃盗等の事件が多数発生しています。

#### (2) 犯罪発生状況

平成19年1月から平成21年8月までの邦人被害犯罪については、当館に報告されている限り16件発生しています。内訳は、強盗2件(昏睡強盗、路上強盗)、恐喝1件、窃盗12件(侵入盗2件、ひったくり4件、置き引き4件、車上狙い1件、その他1件)、誘拐1件です。特に平成21年以降ひったくり等の窃盗犯罪被害が増加しています。

#### (3) その他治安関連事件

平成21年6月12日に行われた当国大統領選挙の後、テヘランをはじめとする各都市で選挙結果に抗議する民衆による集会やデモが頻繁に行われ、警察部隊と衝突するという事態が発生しました。これら一連の騒乱で、イラン政府は36人が死亡し、約4,000人を逮捕した(8月11日現在)と発表しています。抗議グループは今なおインターネット等を通じて集会・デモへの参加を呼びかけていますので、引き続き十分注意して下さい。

### 4. 防犯のための具体的注意事項

#### (1) 住居防犯対策

当国に長期滞在する場合、ホテルは別として一戸建て或いはアパート等集合住宅から住居を選択するというのが一般的ですが、一戸建ては必ずしも防犯対策がなされているとは限らず、過去には

- 窓枠に組み込んであるアルミ製防犯柵を切断され侵入されたケース
- 長期不在(旅行など)中に勝手口を破って侵入され、貴重品を含めた家財道具一切を盗まれたケース
- 帰国直前に送別会が重なり、深夜の帰宅が続いた時期に、合鍵を使って堂々と正面玄関から入られて梱包された荷物を盗み出されたケース(帰宅が遅いことを察知されていた模様)

等が当館に報告されています。

一戸建てに居住する場合は、道路や空き地に近い部分の窓枠に防犯対策を講じるとともに、玄関のドアのロックを二重三重にすることも必要です。

また、比較的安全といわれるアパートに居住する場合でも、階段付近の窓枠防犯対策はもちろん、入居後の早い時期に玄関鍵を交換し、不在時にも室内灯・玄関灯を点灯しておく等の配慮が必要です。

アパートは、基本的には入り口に管理人(門番)が常駐しているところが多く、1～2階は窓等が防犯柵で厳重にガードされているため狙われにくいと言われていますが、最近の手口では郵便局員等を装って管理人を騙してアパート内に侵入し、住人が安心してドアを開けたところで強盗になるという事件も発生していますので、訪問者を安易に入れない等の注意が必要です。

## (2) 外出時防犯対策

外出する場合は、常になんらかのリスクが伴うとの認識が必要です。日中においても薄暗い路地を避けて人通りのある道を選んだり、毎日同じ道を通らず、時にはルートを変えるよう心がけて下さい。また、オートバイを利用したひったくり被害に遭わないため、

- 旅券や現金等の大切なものは身につける(カバンに入れて持ち歩かない)
- バッグ類は道路と反対側に持つ(あるいはコートの中に入れて隠すように持つ)
- 接近してくるオートバイには注意を払う

等に努めて下さい。

さらに、帰宅時を狙われるケースも少なくありませんので、車の乗り降りは自宅駐車場で行うようにするとともに、自宅付近に不審者・車が認められる場合には無理に帰宅せずやり過ごし、アパート門番や警察に通報して安全確認を行ってから帰宅するといった配慮も必要です。

## (3) 生活防犯対策

自宅に訪問者があった時、いきなり玄関を開けることは非常に危険です。あらかじめ訪問者が予想される場合でもドア越しに相手を確認してから対応することが基本です。また、使用人等の中には盗みの手引きをする者がいないとも限りませんので、雇用される際は身元を確認するのは当然のこと、鍵を預けたり不在期間を明確にしない等の配慮が必要です。

## 5. 交通事情

当国では、昨年(平成20年)1年間で2万3,362人ものが交通事故で命を落としており、交通事故の発生件数は世界第一位とされています。そもそも、当国の交通事情は以下のとおり日本とは全く異なっており、細心の注意が必要です。 従っ

て、車を運転(乗車)する場合は必ずシートベルトを締めて下さい。また、歩行中も周囲の車、オートバイに常に注意を払って下さい。

(1) 交通ルールを無視した運転が多い

- 一方通行を逆進する
- 右左折のサインを出さない(出しても逆に曲がる)
- 少しでも車間が空いていれば割り込む
- 車線に沿って走らない
- 車、オートバイの乗車定員を守らない
- タクシーの急停車が顕著
- 2車線、3車線をまたいだ急激な車線変更を行う
- 高速道路を歩行者が横断する
- 薬物乱用者が危険運転を行う

(2) 整備不良車が多い

- 前照灯、ブレーキランプ等灯火類が点かない車両が多い
- 夜間でも無灯火で走る車が多い

## 6. 爆弾テロ・誘拐対策

(1) 概要

当地で反体制テロ組織と唯一認識されている MKO(モジャヘディーン・ハルグ・オーガニゼーション)は、イラクにおけるフセイン政権崩壊後、その後ろ盾を失い、組織の活動は急速に衰えテロ活動も起こせない状況にあります。しかし、国内において拘束されたアル・カーイダ・メンバーの引渡し問題に関連してアル・カーイダから脅迫を受けていることをイラン政府が明らかにしているように、同組織が国内でテロ事件を引き起こす可能性は排除できない状態にあります。

(2) 最近の国内の爆弾テロ事件について、報道されているものは以下のとおりです。

平成20年12月 自動車爆弾使用自爆テロ事件(4人死亡、シスタン・バルチスタン州サラバン)

平成21年5月 モスク内自爆テロ事件(25人死亡、シスタンバルチスタン州ザヘダン)

平成21年5月 キーシュ航空機爆破未遂事件(フーゼスタン州アフワーズ)

平成21年6月 イマームホメイニ廟における爆弾テロ事件(1人死亡、テヘラン)

平成21年6月 イマームザーデ・サーレハ聖廟内爆破未遂事件(テヘラン・タジリシュ)

平成21年7月 退役軍人セレモニーを標的とした爆破未遂事件(ホラサーンラザヴィ州マシュハド)

平成21年8月 音響爆弾使用爆弾テロ事件(死傷者無し、フーゼスタン州アフワーズ)

当地で爆弾テロ事件に巻き込まれないためには、治安関係施設に近寄らないこと、不特定多数が集まる場所や反体制派等が集まる場所への立入を控えることが必要です。

(3) シスタン・バルチスタン州及びケルマンシャー州では外国人を対象とした誘拐事件



DO-ZD UMAD!  
助けて下さい! コマーク・コニッド!  
KOMA-K KONID!  
すぐ来て下さい! ロトファン・ズード・ビヤーヤーインジャ!  
LOTFAN ZUD BIYA INJYA!  
私の名前は・・・ マン ○ ○ ハスタム  
MAN ○ ○ HASTAM  
住所は・・・ アドゥレセ・マン ○ ○  
ADRESE MAN

#### 10. 終わりに

防犯において、慢心は禁物です。「慣れ」は時として落とし穴となり、重大な禍を招く結果になることがあります。

皆様におかれては、当地での滞在を実り多いものにするためにも、常に防犯意識をお持ちいただくようお願い申し上げます。

#### 【緊急連絡先】

- 日本大使館 電話 8871-7922(代表)  
FAX 8871-3515
- ※ 08:30~17:00  
毎週金・土曜日及び原則イラン国の休日を除く。ただし、緊急の場合は夜間・休日等であっても、上記電話番号に架電していただければ、日本語を解するスタッフに電話が転送されます。
- テヘラン警察本部 110  
※ 携帯使用時は 021-110  
※ 交通事故は 197-110
- テヘラン消防本部(火災) 125
- 緊急医療サービス(救急車) 115
- 緊急薬事サービス 191
- 滞在許可(入管) 8806-0441~3
- 観光局 6603-5290~2
- 都市ガス 194
- 水道局 122
- 電気 23819
- 郵便局 193
- 電話局 17
- 天気予報サービス 134
- 時刻サービス 119
- タクシー 133 8840-0011~19

- フライト案内(メフラバード空港)199
- イマーム・ホメイニ空港インフォメーションデスク 5567-8556